

令和6年度

事業報告書

公益財団法人 福岡県動物愛護センター

目 次

第1 法人運営

1 評議員会の開催	1
2 理事会の開催	1
3 評議員及び役員に関する事項	2
4 職員構成	3

第2 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業	4
2 ペット相談事業	1 1
3 調査研究事業	1 3
4 動物愛護・管理支援事業	2 2
5 動物愛護週間事業等	2 6
6 地域猫活動支援事業	2 7

第1 法人運営

1 評議員会の開催

(公財) 福岡県動物愛護センター（以下「センター」という）の運営事項を決定するため、次のとおり評議員会を開催した。

区 分	開催年月日	場 所	付 議 事 項	結 果
第1回	令和6.4.26	(書面決議)	1 評議員1名の選任の件 2 理事1名の選任の件	原案のとおり決議
第2回	令和6.6.24	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度決算及び監査報告について	原案のとおり決議

2 理事会の開催

センターの運営事項を決定するため、次のとおり理事会を開催した。

区 分	開催年月日	場 所	付 議 事 項	結 果
第1回	令和6.4.10	(書面決議)	1 第1回評議員会の書面による決議の件	原案のとおり決議
第2回	令和6.4.26	(書面決議)	1 理事長選定の件 2 常務理事選定の件	原案のとおり決議
第3回	令和6.6.4	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度決算及び監査報告について 3 令和6年度第2回評議員会の開催について	原案のとおり決議
第4回	令和7.2.21	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和6年度補正収支予算について 2 令和7年度事業計画について 3 令和7年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	原案のとおり決議

3 評議員及び役員に関する事項（令和7年3月31日現在）

（1）評議員

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
評議員	田中 克尚	令 6. 4. 26	福岡県保健医療介護部長
評議員	草場 治雄	平 25. 4. 1	（公社）福岡県獣医師会会長
評議員	坂本 慎二	平 30. 10. 3	元（公財）福岡県生活衛生営業指導センター理事
評議員	櫻内 京子	平 25. 4. 1	元 福岡県愛玩動物協会副代表
評議員	林 泰輔	平 30. 10. 3	（一社）九州動物福祉協会事務局長

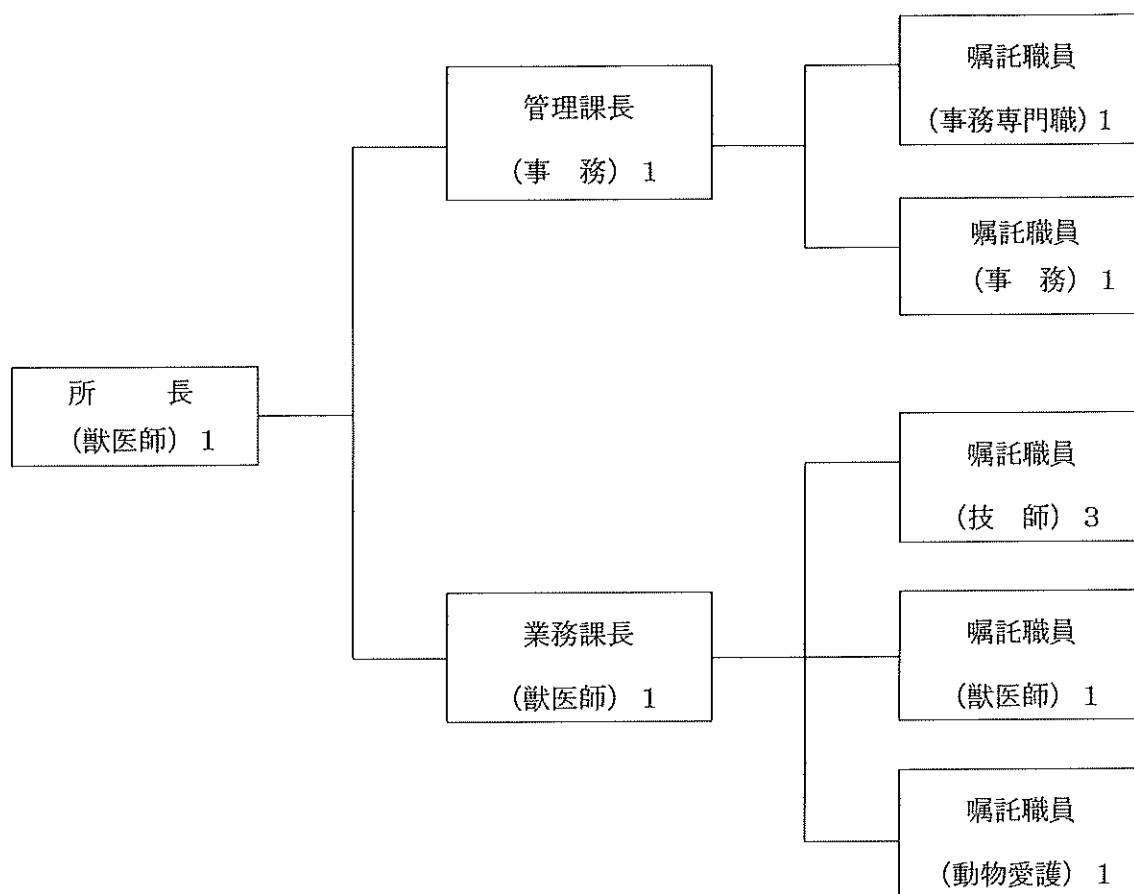
（2）理事

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
理 事 長	友枝 哲宏	令 6. 4. 26	福岡県保健医療介護部食の安全総合調整監 兼生活衛生課長
常務理事	野田 里加	令 6. 4. 26	（公財）福岡県動物愛護センター所長
理 事	小山 幸江	平 27. 6. 16	元 当センター業務課長 当センターボランティア
理 事	野村 哲也	令 5. 5. 1	古賀市副市長
理 事	松島 美穂	令 5. 6. 23	ペットとの生活支援ゆとりら代表
理 事	山根 明弘	平 29. 6. 27	西南学院大学人間科学部教授
理 事	和田 敏憲	令 3. 6. 25	福岡県獣医師会理事（いのちをつなぐ委員会 委員長）

（3）監事

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
監 事	井上 久信	令 1. 6. 12	井上久信税理士事務所所長

4 職員構成（令和7年3月31日現在 10人）



第2章 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業

(1) 県内の動物関係専門学校生等への研修

ア 動物関係専門学校生研修及び実習

動物関係の専門学校の学生に関しては、センター業務、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、動物由来感染症、犬のしつけ及び動物福祉等に関する研修を行った。

期 間	内容及び参加者
7月 9日(火)	研修 福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻 1年生 動物園・テクノロジー専攻1年生 28名
7月 16日(火)	研修 福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻1年生 23名
7月29日(月)~8月1日(木) 計4日間	研修 専門学校福岡ビジョナリーアーツ 動物看護学科動物看護専攻2年生 1名
12月26日(木)~12月27日(金) 計2日間	研修 専門学校福岡ビジョナリーアーツ ペット学科ドッグトレーナー専攻1年生 1名
3月25日(火)~3月28日(金) 計4日間	研修 福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻2年生 1名

イ 動物愛護推進員、行政担当者及び中学生等への研修及び実習

センター業務、動物関係法令、犬や猫の健康管理及び犬のしつけ方等に関する研修及び実習を行った。

(ア) 高校生等研修

日 時	内容及び参加者
6月19日(水)~6月21日(金) 計3日間	職場体験学習 立花高等学校 3年生 4名
7月 2日(火)~7月 3日(水) 計2日間	職場体験学習 立花高等学校 2年生 1名
11月13日(水)	研修 大和青藍高等学校 看護専攻科 1年生 34名
3月4日(火)~3月6日(木) 計3日間	職場体験学習 立花高等学校 1年生 3名

(イ) その他

日 時	内容及び参加者
3月6日(木)	VP キャンプ(獣医系大学インターンシップ) 2名

ウ 福岡県ペット飼育支援アドバイザー養成講習会

ペットの多頭飼育等の問題を未然に防ぎ、適正飼養に係る啓発や適切な助言を行う「福岡県ペット飼育支援アドバイザー」を養成する講習会を行った。

- ・日時 令和6年11月28日（木）13：30～16：00
- ・場所 福岡県動物愛護センター 大会議室
及び、上記会場から zoom を用いた Web 配信
- ・対象 動物愛護推進員他「ペット飼育支援アドバイザー養成講習会実施要領」の受講要件に合う者
- ・受講者数 63名（会場：21名、Web：42名）
- ・内容 ペット飼育問題の現状、高齢者や生活困窮者等に関する法令及び制度等、動物愛護に関する法令及び制度等、ペットを飼育する者への支援の実例と在り方、県の取り組み等

(2) 施設見学者への啓発

ア 施設見学の受入れ

施設来場者に対して、センターの事業の説明及び動物愛護に関する啓発を行った。

- ・受入状況 単位：名

動物愛護 団体	小中学生	専門学校 高校生	行政関係 愛護推進員	一般 来場者	合計
35 (18)	8 (0)	99 (65)	66 (49)	778 (820)	986 (964)

※（ ）は令和5年度の実績、以下同様

イ センターオープンデーの開催

○開催状況

月日（曜日）	参加 登録団体数	参加 協力団体数	来場数	参加 犬猫数	登録 ボランティア数
5月25日（土）	6団体 (7団体)	4団体 (3団体)	203名 (144名)	62頭 (46頭)	17名 (16名)

- ・場所 福岡県動物愛護センター
- ・時間 10：00～15：00
- ・内容 「動物と共に生きるために」をテーマに講演会、センター譲渡犬の里帰り会、施設見学、動物愛護団体によるワークショップ等

ウ テレビ、広報等による啓発

(ア) NHK はっけん TV でセンターオープンデーが紹介された。

(イ) TNC「福岡 NEWS ファイル CUBE」

CUBE 特集 「目指せ'ワンヘルス'マスター！生物共生社会を考える」
第2回「福岡の保護犬猫の現状と未来を考える」で当センターが紹介された。

(ウ) シティ情報 Fukuoka にセンター事業が掲載された。

- (エ) ホームページ、フェイスブック、インスタグラムにより、センター事業や譲渡動物の様子などの情報発信を行った。

(3) 犬のしつけ方教室

犬の適正飼養や犬とのより良い関係づくりを啓発し、模範的な飼育者及び模範犬の育成を図ることを目的として、犬の習性、行動や心理に関する情報を提供しながらしつけ方の指導を行う「犬のしつけ方教室(一般コース、子犬コース)」を実施した。

また、子犬コースに参加し、全レッスンを終了した飼い主と犬を対象としたフォローアップ講習会「ワンパク同窓会」を開催した。

	受講者数	組数
一般コース	53名 (68名)	40組 (35組)
子犬コース	104名 (73名)	77組 (58組)
ワンパク同窓会	84名 (81名)	59組 (58組)
	241名 (222名)	176組 (151組)

ア 一般コース

○ 開催状況

月日(曜日)	受講者数・組数	(登録) ボランティア数	モデル犬数
4月21日(日)	2名・1組	6名	7頭
6月16日(日)	12名・7組	7名	4頭
7月21日(日)	6名・5組	5名	5頭
8月18日(日)	2名・2組	7名	6頭
9月15日(日)	2名・2組	4名	3頭
10月13日(日)	4名・3組	7名	7頭
11月17日(日)	7名・5組	4名	4頭
12月15日(日)	5名・5組	6名	6頭
1月19日(日)	9名・6組	4名	4頭
3月16日(日)	4名・4組	9名	6頭
計	53名・40組 (68名・35組)	59名 (47名)	52頭 (35頭)

・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)

・ 時間 13:30～16:00

・ 対象 一般県民

・ 内容

- (a) 講義 センターの業務、しつけの必要性、犬の習性と性質、犬の社会化、不妊去勢手術、しつけの基本、良い遊びと良くない遊び、犬のことば、問題行動の背景と対処法、しつけグッズの紹介等

- (b) モデル犬の実演 犬と飼い主の関係づくり、オスワリ、オイデ等

イ 子犬コース

○ 開催状況

月日（曜日）	内容	受講者数	同伴犬数	（登録） ボランティア数
6月 6日（木）	講義	5名・4組	—	1名
6月13日（木）	実技1	5名・4組	3頭	8名
6月20日（木）	実技2	10名・8組	3頭	6名
9月 5日（木）	講義	5名・3組	—	2名
9月12日（木）	実技1	5名・3組	2頭	8名
9月19日（木）	実技2	6名・4組	2頭	6名
11月 7日（木）	講義	6名・6組	—	1名
11月14日（木）	実技1	11名・6組	6頭	8名
11月21日（木）	実技2	12名・6組	6頭	7名
3月 6日（木）	講義	15名・15組	—	7名
3月13日（木）	実技1	13名・9組	4頭	11名
3月27日（木）	実技2	11名・9組	5頭	8名
合計		104名・77組 (73名・58組)	31頭 (34頭)	73名 (66名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター 大会議室
- ・ 時間 （講義）13:00～15:30 （実技）13:30～15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
 - (a) 講義 センターの業務、犬との暮らしの基本、犬の学習方法、犬と飼い主の関係作りプログラム、犬のストレス等
 - (b) 実技 アイコンタクト、オスワリ、オイデ、おもちゃ遊び等

ウ ワンパク同窓会

○ 開催状況

月日（曜日）	参加者数	同伴犬数	（登録） ボランティア数
4月24日（水）	51名・34組	32頭	11名
11月20日（水）	33名・25組	23頭	8名
合計	84名・59組 (81名・58組)	55頭 (51頭)	19名 (23名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター 駐車場
- ・ 時間 13:30～15:30
- ・ 対象 犬のしつけ方教室子犬コースを修了した飼い主と愛犬
- ・ 内容 近況報告、実技、ゲーム等により飼い主のスキルアップ

(4) 猫の適正飼養に関する普及啓発

- ・「にゃんにゃんセミナー」

完全室内飼育、不妊去勢手術の実施等、適正な飼養方法を広く普及啓発することを目的に実施した。

○ 開催状況

月日（曜日）	受講者数	会場	Web	（登録） ボランティア
5月29日（水）	4名・4組	1名・1組	3名・3組	0
8月28日（水）	7名・6組	4名・3組	3名・3組	1
11月27日（水）	13名・12組	10名・9組	3名・3組	2
2月16日（日）	17名・11組	10名・6組	7名・5組	1
合計	41名・33組 (34名・26組)	25名・19組 (20名・15組)	16名・14組 (14名・11組)	4名 (2名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
及び、上記会場から zoom を用いた Web 配信
- ・ 時間 13:30～15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容 猫をとりまく現状、習性の理解、ニーズを満たす、ストレスサイン、完全室内飼育のためのポイント、病気と健康管理、食事、お手入れ等

(5) 動物愛護教室

○ 開催状況

単位：名

月日（曜日）	時 間	大人	子ども	（登録）ボランティア
7月31日（水）	10:00～11:50	8	7	3
8月21日（水）	10:00～11:30	4	1	6

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 対象 幼稚園、小学校等の園児、児童
- ・ 内容 動物愛護センターの仕事紹介、動物クイズ、動物の心音、施設見学等

(6) 講師派遣

保健福祉(環境)事務所、市町村等からの依頼はなかった。

(7) 譲受団体研修会

- ・ 開催日時 5月30日（木）13:30～16:00
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
及び、上記会場から zoom を用いた Web 配信
- ・ 参加者 合計36名（会場：23名、Web：13名）
- ・ 内容 令和5年度譲受団体への譲渡状況、センターにおける人材育成の充実強化についての協力依頼、オープンデーの開催について、センターホームページ等の活用

(8) ボランティア研修会

ア 新規ボランティア研修会

○ 開催状況

単位：名

月日（曜日）	受講者数	登録可数	登録済数
4月10日（水）	4	4	4
6月5日（水）	7	7	7
8月7日（水）	2	2	2
10月2日（水）	3	3	3
12月4日（水）	8	8	8
2月12日（水）	5	4	3
合計	29 (18)	28 (17)	27 (17)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 9：00～11：30
- ・ 対象 センター事業を支援する意思のある方
- ・ 内容 ボランティアに必要な事項等の説明

(参考) ボランティアの活動状況

ボランティア活動の動物愛護事業名		事業回数	参加人数 (延)	反省会及び 意見交換会
これから犬を飼う人のための講習会		18回	93名	17回
犬のしつけ方教室	一般コース	10回	59名	10回
	子犬コース	12回	73名	9回
ワンパク同窓会		2回	19名	2回
にゃんにゃんセミナー		4回	4名	0回
動物愛護教室		2回	9名	2回
ボランティア勉強会・研修会		5回	122名	4回
日常のお世話（散歩、シャンプー、手入れ等）		33回	149名	31回
一時預かり（犬・猫）		15回	15名	—
センターオープンデー		1回	17名	1回
動物愛護フェスティバル		1回	12名	1回
合 計		103回 (97回)	572名 (375名)	77回 (74回)

イ ボランティア勉強会

ボランティアの資質向上を図るための勉強会を開催した。

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター大会議室

(7) 第1回 5月15日(水) 13:30～15:30

内容: コミュニケーションスキルの基本

～誰かに何かを伝える前に、意識しておきたいこと～

参加人数: 25名(会場22名、Web3名)

(イ) 第2回 7月17日(水) 13:30～15:30

内容: コミュニケーションスキルとカウンセリングの注意点について

参加人数: 11名(会場7名、Web4名)

(ウ) 第3回 1月15日(水) 13:30～16:00

内容: 心の準備は出来ていますか?

～老犬老猫の介護についてみんなで考える～

参加人数: 28名(会場13名、Web1名、録画動画配信: 14名)

ウ ボランティア及び譲受団体合同研修会

ボランティアと譲受団体との連携及び情報交換を行い、円滑な譲渡事業の実施及び資質の向上を図るため、研修会を開催した。

- ・ 開催日時 12月23日(月) 13:30～16:00

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター大会議室 及び Zoom を用いた Web 配信
また、希望者へ録画動画を1カ月間配信

- ・ 参加者 合計102名(会場: 30名、Web: 24名、録画動画配信: 48名)

- ・ 内容 講話「ヒトと動物の「幸せ」を行動の科学で考える」
講師: 高山 仁志(立命館大学大学院人間科学研究科)

エ ボランティア意見交換会

ボランティアに対してセンター事業等の実施状況の説明を行い、円滑なボランティア活動の実施を図るため、意見交換会を開催した。

- ・ 開催日時 3月5日(水) 10:00～11:30

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)

- ・ 参加人数 20名

(9) 動物愛護に関する行政機関との連携事業

ア 動物行政担当者研修会及び情報交換会

動物愛護事業について、福岡県内各保健福祉(環境)事務所の動物行政担当者と連携を図るために、次の事業を行った。

(7) 研修会

- ・ 日時 6月18日(火) 10:00～16:30

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)

- ・ 参加者 13名(9保健所、生活衛生課)

(イ) 情報交換会

- ・ 日時 2月27日(木) 13:30～16:30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 参加者 11名(9保健所、生活衛生課)

イ 愛護動物同行避難訓練等

(ア) 福岡県総合防災訓練

- ・ 日時 6月2日(日) 8:30～12:00
- ・ 場所 田川青少年文化ホール(田川市平松町3番36号)
香春町思永館(田川郡香春町高野1431)
- ・ 内容 同行避難訓練
同行避難啓発パネル及び同行避難準備グッズの展示

(イ) 福岡県原子力防災訓練

- ・ 日時 11月30日(土) 10:50～13:00
- ・ 場所 福岡県立香椎工業高等学校(福岡市東区香椎駅東2-23-1)
- ・ 内容 同行避難訓練

(ロ) 福岡県防災フェア～地震から身を守ろう！～

- ・ 日時 11月4日(月・祝) 10:00～16:00
- ・ 場所 国営海の中道海浜公園(福岡市東区大字西戸崎18-2)
- ・ 内容 同行避難啓発パネル及び同行避難準備グッズの展示

(エ) ペット同行避難図上訓練(環境省主催)

- ・ 日時 11月26日(火) 13:00～17:00
- ・ 場所 みやま市消防本部(みやま市瀬高町小川2062)
- ・ 内容 水害を想定した避難所設営に伴うペットの同行避難等シュミレーション

(オ) 防災フェスティバル(九州はひとつ!復興支援と防災!)

- ・ 日時 3月23日(日) 10:00～16:00
- ・ 主催 一般社団法人九州女性起業家のびんびん会
- ・ 場所 春日公園 芝生広場(春日市原町3-1-4)
- ・ 内容 同行避難啓発パネル及び同行避難準備グッズの展示

ウ 福岡県内動物愛護(管理)センター会議

- ・ 日時 1月31日(金) 14:10～17:15
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター
- ・ 内容 各センターの現状についての情報交換等

エ 福岡県動物愛護推進協議会に対する動物愛護事業の支援
令和6年度は動物愛護推進協議会の実施なし。

2 ペット相談事業

ペット等に関する相談を電話やセンター窓口において受け付けた。

犬については譲受希望の問い合わせが最も多く、猫については保護の相談、特に子猫の保護相談が最も多く、次に譲受希望の問い合わせが多かった。

(1) 相談件数

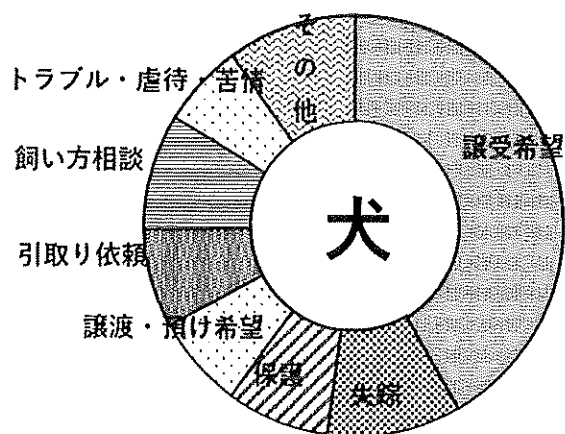
686件（犬250件、猫425件、その他11件）

(2) 相談内容

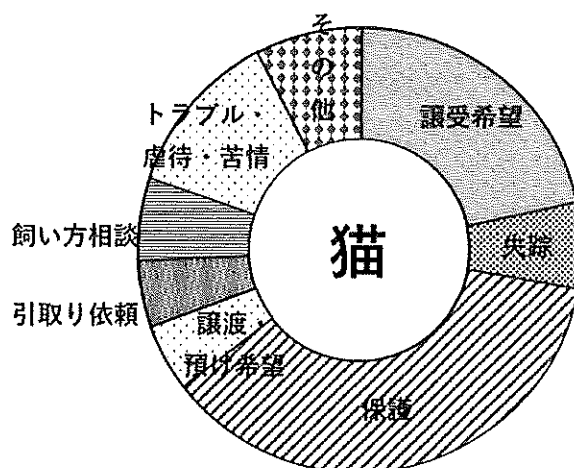
単位：件

相談内容	犬	猫
譲受希望	104	94
失踪	26	27
保護	20	147
譲渡・預け希望	18	22
引取り依頼	19	24
飼い方相談	22	28
トラブル・虐待・苦情	16	48
その他	25	35
合計	250	425

ア 犬の相談内容



イ 猫の相談内容



ウ 犬及び猫以外の主な相談内容

- ・ HP への掲載に関する問い合わせ、相談
- ・ 犬猫以外の愛玩動物の保護・譲渡に関する相談 等

3 調査研究事業

(1) 譲渡犬の飼養実態調査

○ 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した犬の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、譲渡1年後に次のとおり追跡調査を実施した。

- ・ 対象及び件数 令和5年度譲渡犬の飼養者15名、15頭
 成犬12頭（♂7頭、♀5頭）
 子犬 3頭（♂1頭、♀2頭）
- ・ 期 間 令和6年4月～令和7年3月
- ・ 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- ・ 内 容 「飼養状況アンケート」
- ・ アンケート回収数（率）15頭分（100%）

○ 調査結果

- ・ 現在の状態 [N=15]
 健康・・・・・・・・ 13件（87%）
 死亡した・・・・ 2件（13%）
 [以降N=15 ♂8 ♀7]

- ・ 飼育の目的〔複数回答〕
 家族の一員・・・・・・・・ 15件（100%）
 番犬 ・・・・ 1件（ 7%）
 愛玩用 ・・・・ 1件（ 7%）

- ・ 現在の体重
 0.0kg～ 5.0kg・・・・4頭
 5.1kg～10.0kg・・・・4頭
 10.1kg～15.0kg・・・・5頭
 15.1kg～20.0kg・・・・0頭
 20.1kg～25.0kg・・・・1頭

- ・ 飼育場所〔複数回答〕
 家の中・・・・・・・・・・・・ 15件（83%）
 囲いの中で ・・・・ 1件（ 7%）
 庭で放し飼い・・・・・・・・ 1件（ 7%）

- ・ 狂犬病予防法に基づく登録・注射
 受けている・・・・ 15件（100%）
- ・ 所有者明示について
 付けている・・・・ 15件（100%）

〔明示内容〕〔複数回答〕

- ・鑑札（7件） ・狂犬病予防注射済票（13件）
- ・マイクロチップ（15件） ・迷子札（8件）
- ・環境省へのマイクロチップの登録について
手続きは終わった・・・15件（100%）

譲渡の条件である、登録と狂犬病予防注射の接種は100%実施していた。
法律で定められている鑑札や済票の装着について、1件未装着であったため、
装着の義務について再度説明した。

- ・主に犬の世話をする人 〔複数回答〕
記入者本人・・・10件（67%）
家族の大人・・・9件（60%）
子供・・・3件（20%）
その他・・・1件（7%）
- ・犬の運動〔複数回答〕
特にさせていない・・・0件（0%）
庭で追放し・・・4件（27%）
引き綱で運動・・・11件（73%）
ドッグラン・・・0件（0%）
その他・・・7件（47%）
無回答・・・0件（0%）

〔運動の回数／一日〕

1回・・・1頭
2回・・・4頭
3回・・・2頭
4回・・・0頭
5回・・・0頭

〔運動の時間／一回〕

20分程度・・・4頭
30分程度・・・2頭
40分程度・・・2頭
60分程度・・・2頭
90分程度・・・1頭

- ・食事の内容〔複数回答〕
ドッグフード・・・15件（100%）
その他・・・7件（47%）

全ての飼い主は犬を毎日散歩させ、食事はドッグフードを基本に与えている。
運動や食餌において適正な飼育をしていると考えられた。

- ・不妊・去勢手術について
センターにて手術済み・・・15件（100%）

全ての犬に対して譲渡前に手術を施してから飼い主の募集をしたため、実施
率が100%となっている。

・ 動物病院の受診経験

ある・・・・・・・・・・ 15件（100%）

〔主な内容〕〔複数回答〕

- ・ 狂犬病予防注射 ・ 混合ワクチン接種 ・ フィラリア予防 ・ ノミダニ予防
- ・ 健康診断や相談 ・ 血液検査 ・ 抗がん剤治療 他

動物病院は、治療、予防に加えて健康診断や相談で受診していた。

予防獣医療及び体調不良時の早期受診の大切さについて、譲渡時の誓約書に記載した上で、しっかりと説明するようにした成果だと考えられた。

・ 飼育していて困ったこと、現在困っていること

○成犬

ある・・・・・・・・ 5件（ 42%）

ない・・・・・・・・ 7件（ 58%）

○子犬

ある・・・・・・・・ 2件（ 67%）

ない・・・・・・・・ 1件（ 33%）

約半数の飼い主が「困りごとがある」と回答したが、飼い主自身が工夫をして対処できていた。

また、センターに飼い主から困りごとの相談があった際は、フォローアップを行った。

・ 今回犬を飼っての感想は〔複数回答〕

- ・ かわいい ・ 癒される ・ 楽しい
- ・ 毎日お散歩したり会話したり、幸せ
- ・ 家の中が明るくなった、会話が多くなった、笑うことが増えた。
- ・ トイレのしつけに苦労した
- ・ お金がかかった(病院代、クーラー代、病院食、入院代)
- ・ 知らない人への警戒心が強かったので、社会化/トレーニングの順番に気を使った。

センターから犬を迎えられた飼い主は、苦労はしても犬との暮らしに満足されている様子がうかがえた。

犬を飼育するにあたっての基本的な留意事項について、事前講習会や面談時において、今後もしっかりと説明していきたい。

・ お宅の犬はしつけが良い方だと思いますか。〔複数回答〕

思 う・・・・・・・・ 7件（47%）

思わない・・・・・・・・ 1件（ 7%）

わからない・・・ 8件（53%）

- ・ センターで行っている「しつけ方教室」について

参加した・・・・・・・・・・	8件（53％）
参加したい・・・・・・・・・・	5件（33％）
参加できない・・・・・・・・・・	2件（13％）

センターで行っている「犬のしつけ方教室」への参加意欲は高い。譲渡後のフォローアップとしても参加を進めており、今後も飼い主への働き掛けを行っていく。

- ・ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること
 [内容]
 - ・ 飼う前に勉強することが必要。
 - ・ 迷子札、基本的なトレーニング。
 - ・ もっと多くの人に愛護センターの事を知ってもらい、知人に伝える。
 - ・ 最後まで一緒に過ごす。
 - ・ ペットとして考えず、家族として考える。

飼い主から勉強することの大切さや所有者明示、基本的なトレーニングの回答があったのは、譲渡前に行う講習会や譲渡時に行う個別講習、犬のしつけ方教室などにより、飼い主の考え方や犬に対する接し方など、終生飼養のためには飼い主自身による問題が大きいことを理解したからだと考えられる。

- ・ センターへの意見・要望
 [主な内容]
 - ・ 近況報告及びセンターに対する感謝や激励。

○ 総括

本アンケート調査により、センターから犬の譲受をされた方が、センターの譲渡事業の目的である地域における模範的飼養者として犬を適正に飼養していることが確認できた。また、回答結果から事前講習会での説明のポイントや適正飼養に関する普及啓発のためのヒントを知ることができた。今後も、このアンケート調査を継続して実施していくこととする。

（２）譲渡猫の飼養実態調査

○ 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した猫の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、譲渡６カ月後に次のとおり追跡調査を実施した。

- ・ 対象及び件数 令和５年度譲渡猫の飼養者２７名、３６頭

成猫	６頭（♂ ２頭、♀ ４頭）
子猫	３０頭（♂ １５頭、♀ １５頭）
- ・ 期 間 令和６年４月～令和７年３月

- ・ 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- ・ 内 容 「飼養状況アンケート」
- ・ アンケート回収数（率） 36頭分（100%）

○ 調査結果〔以降N=36 ♂17 ♀19〕

- ・ 現在飼育しているか

はい・・・ 36件（100%） いいえ・・・ 0件（ 0%）

- ・ 飼養方法について

完全室内飼育・・・ 36件（100%）

譲渡猫は、譲渡の条件どおり全頭完全室内飼育されていた。

- ・ ケージの活用について

活用している・・・ 33件（92%）

〔活用方法〕〔複数回答〕

・留守中（6件） ・就寝中（13件） ・食事中（13件） ・家事（8件）

・窓開閉時（10件）

その他（8件）の内訳〔複数回答〕

・遊び場（2件） ・いつでも入れるようにしている（4件）

・おやつをあげるとき（1件）・トイレ（1件）

活用していない・・・ 3件（8%）

〔主な理由〕〔複数回答〕

・入れると鳴いてばかりで2日位で出した。

・自由に出入りさせているが、特に入らない。

譲渡時の条件であるケージを92%の飼い主が活用していたが、活用していない飼い主も8%いた。災害時に役に立つこと、ケージを活用できる場所にする工夫など、今後も譲渡前の面談の際に、ケージ活用の重要性について十分な説明を行いたい。

- ・ 所有者明示について

付けている・・・ 36件（100%）

〔明示内容〕〔複数回答〕

・マイクロチップ（36件） ・迷子札（11件） ・その他（3件）

その他の内訳

・名前と連絡先が印字された首輪（1件）・首輪に連絡先を記入（1件）・首輪（1件）

譲渡前にマイクロチップを装着しているため、所有者明示は100%となるが、迷子札の装着率が低いため、今後も譲渡前の面談の際に迷子札の重要性について十分な説明を行いたい。

- ・ マイクロチップの環境省への登録について

手続き済み・・・・・・・・ 36件（100%）

全ての飼い主が譲渡日にセンターにて登録を済ませた。

- ・ 主に猫の世話をする人は [複数回答]
記入者本人・・・・・・・・ 31件（86%）
家族の大人・・・・・・・・ 21件（58%）
子供・・・・・・・・ 18件（50%）

猫の世話は、子供だけではなく必ず大人の手が入っていた。
その他は、家族全員で世話をしているとの回答であった。

- ・ 不妊・去勢手術について
センターにて手術済み・・・・ 36件（100%）

全ての猫に対して譲渡前に手術を施してから飼い主の募集をしたため、実施率が100%となっている。

- ・ 動物病院の受診について
受診した・・・・・・・・ 35件（97%）

[主な内容] [複数回答]

- ・ 健康診断（23件） ・ ワクチン接種（11件） ・ ノミダニ予防（8件）
・ 皮膚病治療（1件） ・ 結膜炎（2件） ・ 軟便（2件）
・ 猫風邪（2件） ・ 便秘（1件）

受診していない・・・・ 1件（3%）

[主な内容]

- ・ 必要なかったから・・・・ 1件（3%）

譲渡後半年以上動物病院を受診していない飼い主が1件あり。譲渡の際に、健康診断や外部寄生虫駆除薬等の必要性について今後も十分説明したい。

- ・ 現在飼育している動物について
譲り受けた猫のみ・・・・・・・・ 16件（57.5%）
その他の動物がいる・・・・・・・・ 20件（42.3%）
[同居動物の種類] [複数回答]
・ 猫（17件） ・ 犬（2件） ・ その他（3件：文鳥、亀、ウーパールーパー）
[猫との関係について]
・ 良好（15件） ・ 距離を置いている（1件） ・ 不仲（3件）
・ その他（3件：部屋を分けている、先住犬に強く当たる、水槽にネット）

- ・ 飼育していて困ったこと、現在困っていること
ない・・・・・・・・ 23件（64%）
ある・・・・・・・・ 13件（36%）
[主な内容]
・ 盗み食いをする（2件）

- ・たまにベッドでそそうしてしまう（2件）
- ・先住の猫と不仲なので、別部屋で管理している（2件）
- ・その他（9件）

飼育していて困ったこと、現在困っていることについて「ある」と回答された飼い主の内容は、飼い主の対処によって改善できるものであった。このことから、猫についても飼育方法の継続的なサポートが必要であることが分かった。にゃんにゃんセミナーにおいて、今後も適切な対処方法等を説明する。

・ 今回猫を譲り受けての感想 〔複数回答〕

あり・・・ 33件（92%）

- ・近況報告（2件） ・可愛い、和む、幸せ（17件）
- ・2匹一緒によかった（3件） ・先住猫との関係（6件）
- ・家族の会話が増えた（4件） ・譲渡時のセンター対応が良かった（11件）
- ・最後まで責任を持って飼う（1件）
- ・その他（3件）

無回答・・・ 3件（8%）

飼い始めた感想について、「悪かった」との回答はなかった。「良かった」理由として「可愛い、和む」、「2匹一緒に良かった」等を挙げていた。

・ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

回答あり・・・ 35件（97%）

- ・最後まで飼う（33件） ・不妊去勢手術をすること（25件）
- ・室内飼育をすること（25件） ・飼う前に調べる（15件）
- ・野良猫に餌付けしない（14件） ・情報発信をする（12件） ・その他（4件）

回答なし・・・ 1件（3%）

処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができることとして、「最後まで飼う」、「不妊去勢手術をする」、「室内飼育をする」など飼い主の責任について飼い主が認識することができたと考えられる。

・ センターへの意見・要望

あり・・・ 24件（67%）

〔主な内容〕

- ・近況報告及びセンターに対する感謝、激励（16件） ・その他（13件）

〔主な内容〕

- ・近所の猫情報をみて、何ができるか考えるようになった。
- ・インスタでの発信は良い
- ・混合ワクチン接種や不妊去勢手術の時期が早すぎる。
- ・生後3ヶ月以内の子猫の譲渡条件が厳しすぎる。

センターへの意見・要望については、譲渡した猫に会えた感謝やお礼に関する事が多く、センターの譲渡事業に対して高評価を得ていた。

また、混合ワクチン接種や不妊去勢手術の時期及び子猫の譲渡条件についての意見があった。譲渡の際に、センターで必要な医療処置や適正飼育のための譲渡条件について、今後も十分に説明を行いたい。

○ 総括

本アンケート調査は、回収率が高く、譲渡事業の評価に有効な手段と思われる。今回の調査結果を譲渡時の猫の適正飼育についての説明に生かし、今後も地域で模範となる飼い主の育成を目指していく。

(3) 猫の適正飼養に関する調査

○ 調査の概要

- ・ 対象及び件数 下記フェスティバル時に、センター設置の動物愛護事業啓発ブースに来場された方。クイズ形式で回答。回答者数213名。
- ・ 調査日時 令和6年10月20日(日) 10:45～15:00
「2024動物愛護フェスティバルふくおか」開催時
- ・ 調査場所 天神中央公園西中洲エリア(福岡市)
- ・ 調査方法 センターブース内にクイズの内容に関連したパネルを展示し、クイズの回答はボードにシールを貼ってもらう。移動用パネルを持って来場者へのクイズ参加を呼び掛ける。クイズ回答者には啓發文(不妊去勢手術で不幸な命をなくそう・迷子札は命づな)を貼った粗品を配布。
- ・ 調査内容 「猫の適正飼養に関するアンケート」
三択式の簡単なアンケートをとり、猫の適正飼養に関する意識の調査を行った。

「猫が好き？」

- A すき
- B どちらでもない
- C きらい

「のら猫にエサだけあげるのはどう？」

- A よい
- B どちらでもない
- C だめ

「猫をおうちの中だけで飼うのはどう？」

- A よい
- B どちらでもない
- C かわいそう

○ 調査結果

・猫が好き？

アンケートに答えた方の80%が「すき」と回答した。動物愛護フェスティバルの来場者対象であり、動物が好きな方が多いことが予想されるが、アンケート回答者の17%が「どちらでもない」、3%が「きらい」と回答した。

・のら猫にエサだけあげるのはどう？

猫が好きな方が多いなかで、野良猫にエサだけあげることにについて、77%が「だめ」、12%が「どちらでもない」、11%が「よい」と回答した。

・猫をおうちの中だけで飼うのはどう？

猫の室内飼いについて、71%が「よい」、19%が「どちらでもない」、10%が「かわいそう」と回答した。

○ 総括

多くの来場者に気楽に答えていただくため、「記述式」は行わず、該当欄にシールを貼る方法で「三択式」のみ行ったところ、多数参加していただくことができ、また会場内に展示したパネルを用いて適正飼育の普及啓発を行うことができた。

調査結果から、のら猫にエサだけ与えることが問題であること、猫の室内飼いが良いという意識が普及しつつあることがわかるが、不幸な猫を減らすためにはさらに正しい知識の普及啓発が必要とわかった。当センターの事業(にゃんにゃんセミナー等)で継続し普及啓発を行う。

4 動物愛護・管理支援事業

(1) 動物の収集及び管理に関する事業

ア 収集、譲渡及び殺処分状況

単位：頭

区 分		犬		猫		その他	計
		成犬	子犬	成猫	子猫		
① 前年度からの繰り越し		8 (4)	0 (2)	2 (4)	0 (1)	0 (0)	1 0 (11)
収 集	② 保健福祉（環境）事務所等からの捕獲犬及び引取犬・猫	1 3 8 (171)	1 9 (17)	2 4 (55)	1 3 4 (196)	0 (0)	3 1 5 (439)
	③ 保健福祉（環境）事務所等からの負傷動物	4 (4)	1 4 (7)	6 2 (75)	3 9 (70)	0 (0)	1 1 9 (156)
	④ 収集計（②+③）	1 4 2 (175)	3 3 (24)	8 6 (130)	1 7 3 (266)	0 (0)	4 3 4 (595)
譲 渡	⑤ センター譲渡	7 (12)	1 (3)	3 (6)	2 8 (30)	0 (0)	3 9 (51)
	⑥ 譲受団体譲渡	1 1 9 (142)	2 8 (20)	2 4 (60)	8 0 (130)	0 (0)	2 5 1 (352)
	⑦ 譲渡計（⑤+⑥）	1 2 6 (154)	2 9 (23)	2 7 (66)	1 0 8 (160)	0 (0)	2 9 0 (403)
⑧ 殺処分計		1 9 (17)	3 (3)	5 8 (66)	6 3 (107)	0 (0)	1 4 3 (193)
⑨ 翌年度への繰越		5 (8)	1 (0)	3 (2)	2 (0)	0 (0)	1 1 (10)

イ 麻酔薬による殺処分

炭酸ガスによる殺処分からできるだけ麻酔薬による殺処分に移行させ、致死量の麻酔薬（犬：ラボナール、イソゾール 猫：アイオナール Na、イソゾール）投与による殺処分を実施した。

○犬 5頭（成犬5頭）

○猫 37頭（成猫9頭、子猫28頭）

(2) 犬及び猫の譲渡事業

殺処分数の減少を図るとともに、地域における模範的飼養者の育成及び適正飼養の普及啓発を図るため、センターにおいて保管・管理している健康で家庭動物として適正のある犬及び猫について、譲渡を行った。

ア センターから個人への直接譲渡

犬譲渡事前講習会参加者数・猫面談参加者数・譲渡数

	参加者数	組数	譲渡数
犬	85名（104名）	52組（52組）	8組・8頭（15組・15頭）
猫	80名（87名）	37組（37組）	26組・31頭（27組・36頭）
	165名（191名）	89組（89組）	34組・39頭（42組・51頭）

(7) 譲受希望者への犬の譲渡

犬の譲受希望者に対しては、事前講習会の受講を義務づけるとともに、譲受希望者には面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。また、譲渡犬については5種感染症ワクチン等を接種するとともに、内外部寄生虫駆除、特段の事情がない限り不妊去勢手術を行っている。

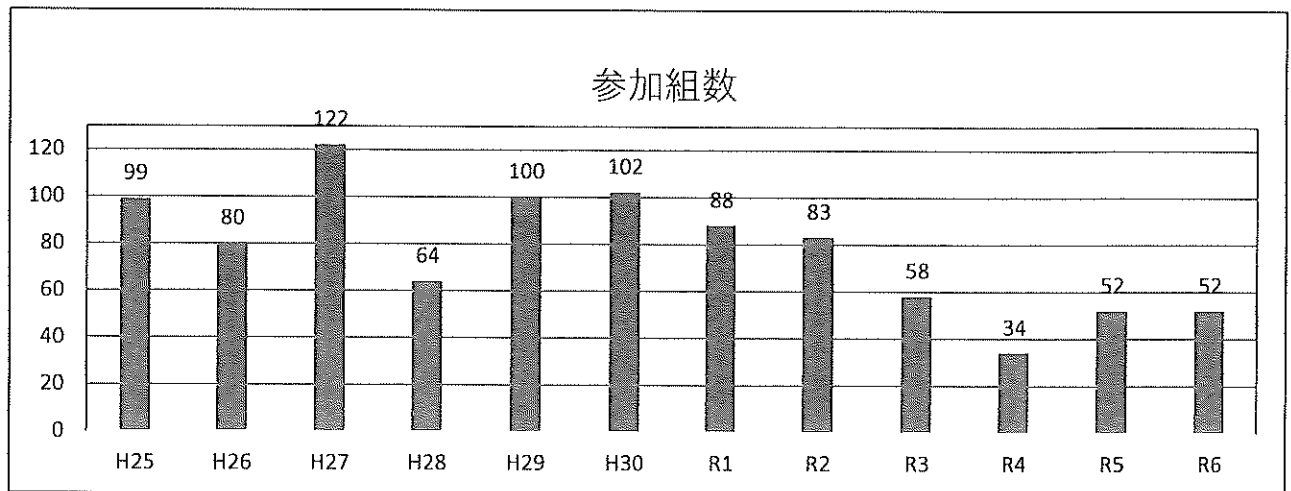
(a) 「これから犬を飼う人のための講習会」(事前講習会)

- ・ 講習 「あなたは本当に犬が飼えますか?」、「犬を迎える準備」
- ・ 面談 犬の飼養環境調査表(譲受希望者記入)等に基づく聴取
- ・ 開催状況

月日(曜日)	受講者数	組数	(登録) ボランティア数
4月10日(水)	0名	0組	
4月21日(日)	9名	3組	4名
5月 8日(水)	2名	1組	8名
6月 5日(水)	8名	7組	
6月16日(日)	6名	1組	5名
7月 3日(水)	2名	2組	6名
7月21日(日)	0名	0組	
8月 7日(水)	0名	0組	
8月18日(日)	0名	0組	
9月 4日(水)	2名	1組	9名
9月15日(日)	7名	3組	3名
10月 2日(水)	4名	2組	7名
10月13日(日)	3名	2組	3名
11月 6日(水)	7名	2組	9名
11月17日(日)	9名	5組	4名
12月 4日(水)	7名	5組	5名
12月15日(日)	1名	1組	2名
1月 8日(水)	2名	1組	6名
1月19日(日)	2名	1組	3名
2月 5日(水)	雪のため中止		
2月16日(日)	4名	3組	4名
3月 5日(水)	7名	7組	10名
3月16日(日)	3名	2組	5名
合 計	85名 (104名)	52組 (52組)	93名 (57名)

・開催時間 水曜日;13:30~16:00、日曜日;9:30~12:00

(b) 事前講習会参加組数の推移



(c) 事前講習会での面談結果及び譲渡状況等

- ・受講組数：52組
- ・面談組数：29組
- ・面談の結果、譲渡可は0組、条件付譲渡可は22組、譲渡不可7組
- ・面談不参加者内訳：辞退3組、勉強のため20組
- ・譲渡数：8組 8頭

(d) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 電話によるフォローアップ（譲渡10日後）
- 家庭訪問（譲渡4カ月後）
- 郵送によるアンケート調査（譲渡1年後）

(イ) 譲受希望者への猫の譲渡

譲受希望者には随時の個別面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡猫については3種感染症ワクチンを接種するとともに、内外部寄生虫駆除、特段の事情がない限り不妊去勢手術を行っている。

(a) 個別面談での面談結果及び譲渡状況

面談組数：37組 譲渡数：26組 31頭

面談の結果、譲渡可は0組、条件付譲渡可は33組、譲渡不可3組、辞退1組

(b) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 郵送によるアンケート調査（譲渡6ヶ月後）

(ウ) 福岡県獣医師会の支援診療

県獣医師会支援事業により、2回2頭の診療支援を受けた。

(エ) 犬及び猫の譲渡状況（市町村別譲渡頭数）

単位：頭

事務所名	市町村名	成犬	子犬	成猫	子猫	事務所名	市町村名	成犬	子犬	成猫	子猫
筑紫 保健福祉 環境事務所	筑紫野市	1			2	北筑後 保健福祉 環境事務所	朝倉市				
	春日市				1		小郡市	1			
	大野城市						うきは市				
	太宰府市				1		筑前町				
	那珂川市						大刀洗町				
粕屋 保健福祉 事務所	古賀市				4	南筑後 保健福祉 環境事務所	東峰村				
	宇美町						柳川市				
	篠栗町						みやま市				
	志免町				1		八女市				
	須恵町				1		筑後市				
	新宮町	1					大川市				
	粕屋町				1		大牟田市			1	
	久山町						大木町				
糸島保健 福祉事務所	糸島市				2	京築 保健福祉 環境事務所	広川町				
宗像・遠賀 保健福祉 環境事務所	宗像市				4		行橋市				
	福津市	1	1		2		豊前市				
	中間市						みやこ町				
	芦屋町						苅田町				
	水巻町						吉富町				
	岡垣町			1			築上町				
	遠賀町	1					上毛町				
嘉穂・鞍手 保健福祉 環境事務所	飯塚市				1	北九州市 動物愛護 センター	小倉北区				1
	嘉麻市						小倉南区				1
	桂川町				2		八幡西区				2
	直方市						八幡東区	1			
	宮若市			1	1	福岡市 動物愛護 管理センター	東区				
	鞍手町						博多区	1			
	小竹町						中央区				
田川 保健福祉 事務所	田川市						南区				1
	香春町						城南区				
	添田町						早良区				
	糸田町						西区				
	川崎町					久留米市 動物管理 センター	久留米市				
	大任町										
	福智町					令和6年度譲渡数		成犬	子犬	成猫	子猫
	赤村							7	1	3	28

イ 譲受団体への譲渡

センターの登録基準を満たした団体に対し、当該団体が希望する犬猫を譲渡した。

※登録基準：福岡県犬及びねこの団体譲渡に係る要領（平成22年5月26日施行）

(7) 登録譲受団体数

35団体（令和7年3月31日現在）

(イ) 犬及び猫の譲渡状況

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
119 (142)	28 (20)	24 (60)	80 (130)	251 (352)

ウ 譲渡動物の不妊去勢手術

・不妊去勢手術の実施状況

単位：頭

	メス	オス	合計
犬	1	7	8
猫	21	13	34
合計	22	20	42

エ 譲渡動物へのマイクロチップの装着

センター 犬 8頭、猫 37頭 合計45頭

登録譲受団体（福岡県及び北九州市獣医師会に委託して装着）

犬96頭、猫38頭 合計134頭

(3) 施設の保守及び管理業務

建物・施設、財産の適正な維持管理に必要な業務を行った。

5 動物愛護週間事業等

動物愛護週間は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、広く国民の間に、命あるものである動物の愛護と適正飼養について関心と理解を深めるために設けられたもので、センターでは次の事業を行った。

(1) 動物慰霊祭及び講演会

- ・開催日 10月16日（水）
- ・場所 福岡県動物愛護センター 大会議室
- ・内容 動物慰霊祭及び動物愛護講演会
- ・参加者 61名

(2) 2024動物愛護フェスティバルふくおか

開催日及び場所 10月20日（日） 天神中央公園西中洲エリア（福岡市中央区）

6 地域猫活動支援事業

市町村との委託契約に基づき地域猫活動により持ち込まれた猫の不妊去勢手術を行った。

不妊去勢手術の実施状況

単位：頭

市町村名	メス	オス	合計
宗像市	4	4	8